

事業名	教育テレビ放送事業	
主管課及び関係課	(主管課)生涯学習政策局学習情報政策課(森本 浩一課長)	
上位施策目標	施策目標 1 - 3 家庭教育の支援	
事業の概要	民間放送局の教育番組の充実向上と放送を通じて家庭教育の充実、青少年の健全育成に資するため、家庭教育放送番組「親の目子の目」(週1回)の企画、制作、放送及び「親子の人間関係」や「家庭問題」等に関する調査研究等の事業を実施する。	
予算額及び事業開始年度	平成16年度概算要求額：概算要求なし(平成15年度予算額261百万円) 総 額：11,108百万円 事業開始年度： 昭和46年度	
必要性	<p>今日、家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、多くの親が子どものしつけや教育に対する悩みや不安を抱えており、育児に対する自信喪失とともに、本来家庭において行うべき教育を学校等の外部機関に委ねる傾向が見られるなど、家庭の教育力が次第に低下してきている。</p> <p>このように、低下した家庭の教育力を回復していくためには、学習の機会を提供できる極めて有効なメディアであるテレビ放送を通じ、積極的に家庭教育に対する支援を充実していくことが必要である。</p> <p>一方、今日のテレビ放送は、質の高い教育番組が少なく、とりわけ人格形成期の青少年に対する悪影響等が社会的問題となっている。</p> <p>民間放送においては、教育番組の社会的意義を高く評価しながらも、視聴率が確保しにくい分野であることから、質の高い番組が制作されにくい現状である。</p> <p>このため、良質の教育放送番組の制作を奨励する観点から、文部科学省において、家庭教育番組の制作・放送等の事業を実施することは重要なことである。</p> <p>さらに、一般視聴者、社会教育関係者及び放送局の三者が一体となった研究協議会を行うことで、今日の社会的課題となっている「親子の人間関係」や「家庭問題」等に関する学習機会を提供し、生涯学習の振興に寄与するとともに、教育テレビ放送の質の向上に大きく貢献することができる。</p>	
効率性	本事業の予算規模は261百万円であるが、質の高い教育番組が全国32民間放送局で制作・毎週放送されており、全国で毎回約170万世帯が視聴している。この結果得られると思われる教育番組の充実向上・家庭教育の充実、青少年の健全育成等の効果を考えると本事業は効率的に実施されているといえる。	
有効性	得ようとする効果の把握の仕方(検証の手順)	視聴者アンケート・関係団体への聞き取り調査・研究協議会・視聴率調査等により、番組の内容・有効性等について調査する。
	得ようとする達成効果の達成見込みの判断の根拠(判断基準)	視聴者アンケートより、番組について興味深かったとするもの90.4%、意義があるとするもの83.8%と高く評価されている。また、家庭教育のためのテレビ番組が民間放送で放送されることについても、74.9%が「良いと思うので一層の拡充を期待する」と回答している。このことを踏まえ、今後も同様の効果が得られると判断。
公平性、優先性	<p>民間放送局の系列にとらわれない全国組織である民間放送教育協会に委託することで公平性を確保。</p> <p>家庭教育力の低下や青少年に関わる問題は緊急性を有する問題であり、その対策は優先的に行う必要がある。</p>	

得ようとする効果及び達成年度	民間放送局の教育番組の充実向上と放送を通じて家庭教育の充実，青少年の健全育成に資する。	達成年度 平成15年度
事業継続の適否，改善点等の今後の政策への反映方針	<p>本事業は，平成15年度で終了。</p> <p>この事業で制作した番組は，視聴者アンケート・関係団体への聞き取り調査等から，番組の内容・事業の必要性については高い評価を得ている。改善点としては，「テーマを広げる」「視聴機会の多角化」等が上げられている。</p> <p>これらの内容を踏まえ平成16年度に，国民の現代的課題に幅広く応えること，放送に合わせコンテンツ化による利用機会の拡大を図ることを視点に見直し，新たに教育用コンテンツの活用・促進事業の中に位置づけた。</p>	

教育テレビ放送事業

文部科学省

委託

民間放送教育協会

(全国 32テレビ放送局)

実施

実施

家庭教育番組

親の目子の目」の企画・制作・放送
全国ネットで毎週 1回・30分放送

(専門家による企画委員会で内容を検討 指導)

教育番組の利用
についての調査研究

研究協議会の実施
(全国 4地区)

番組利用調査
(視聴率調査・アンケート)

番組作り
に反映

・家庭教育の充実・青少年の健全育成
・民間放送局における教育番組の向上